



推奨システム

この章では、Cisco IP Solution Center (ISC) の推奨システムおよびシステム要件について説明します。ISC は、Sun Solaris サーバのほか、Web サーバや他の支援パッケージにインストールできる Web ベースのアプリケーションです。ISC には、Web ブラウザを使用してアクセスします。

インストールを計画する前に、このリストを十分に確認し、インストールを正常に完了させるために必要なハードウェアおよびソフトウェアがすべて用意できているかどうかを確認することを推奨します。

推奨事項は次の各トピックで構成されています。

- 「ISC サーバ ハードウェア」(P.1-1)
- 「ISC サーバ Solaris の設定」(P.1-2)
- 「ISC クライアント」(P.1-3)
- 「IOS XR デバイスの設定」(P.1-4)
- 「サポート対象のシスコ ネットワーク機器およびソフトウェア バージョン」(P.1-4)

ISC サーバハードウェア

ISC 6.0 製品をインストールするには CD-ROM ドライブが必要です。

Sun™ Solaris サーバの最小推奨環境を表 1-1 に示します。

表 1-1 ISC アプリケーション対応 Sun Solaris サーバ最小推奨環境

クラス	アプリケーション	Sun Solaris サーバ最小要件	メモリ	スワップ領域	ディスク領域
エントリ	Cisco MPLS Diagnostics Expert または L2VPN および L3 MPLS (最大 1500 個の 接続回線搭載) 注: API での使用は推 奨しない。	Sun™ SPARC T5210、 Quad-Core CPU、1.2 GHz	8 GB (下記の注釈 を参照)	8 GB	73 GB ハードドラ イブ

表 1-1 ISC アプリケーション対応 Sun Solaris サーバ最小推奨環境 (続き)

ミッドレンジ	トラフィック エンジニアリング管理 (TEM) (最大 5000 TE トンネルまで) または L2VPN および L3 MPLS (最大 10,000 個の接続回線搭載)	Sun™ SPARC T5220、Quad-Core CPU、1.2 GHz	8 GB	8 GB	73 GB ハードドライブ
ハイエンド	トラフィック エンジニアリング管理 (TEM) (5000 を超える TE トンネル) または L2VPN および L3 MPLS (10,000 個を超える接続回線搭載)	Sun™ SPARC M4000、CPU X 2、2.15 GHz	16 GB	32 GB	146 GB ハードドライブ

注：

この表で示す推奨サーバは、一般的なインストールの一例です。相対的なパフォーマンスはさまざまな要因により決定されます。適切なサーバを選ぶ際にお役にたてることがあれば、代理店にご連絡ください。

ISC に対して Oracle および Sybase のデータベース レイアウトは、デフォルトで問題ありません。さらに最適化を行うかどうかは各ユーザの好みによります。

サーバ仮想化の最小推奨要件は、Sun™ SPARC T5210、メモリ 8 GB 搭載 (注文可能な最小仕様) です。エントリレベルの LDOM で ISC を実行するのに必要な最小リソースは、1.2 GHz コア X 2、メモリ 4 GB、スワップ領域 8 GB です。

ISC サーバ Solaris の設定

このリリースでは、Solaris 10 がサポートされています。パッチ クラスタのカーネル レベルに最小推奨パッチ 118822-30 が適用された Solaris 10、および JDK 1.6.0_07 パッチは <http://sunsolve.sun.com> から入手できます。システムは、最小でも 118822-30 カーネル パッチ レベルにする必要があります。インストールについては、パッチ バンドルと同じ場所に格納されている README ファイルを参照してください。

ISC をインストールする前に、ホスト名を IP アドレスに変換できるようにサーバを設定します。Domain Naming System (DNS; ドメイン ネーム システム) または代替手法が設定されていることを確認してください。

表 1-2 の「Solaris ソフトウェアの要件」に Solaris の要件を示します。

表 1-2 Solaris ソフトウェアの要件

要件	説明
Solaris 10	<p>Sun Sparc サーバに Solaris 10 をインストールします。[Developer System Support] または [Entire Distribution] ソフトウェア グループを選択します。[End User System] ソフトウェア グループは選択しないでください。次のガイドラインに従います。</p> <p>[Full Distribution]— フル ディストリビューションには、次の必要なパッケージが含まれます。フル ディストリビューションをインストールしなかった場合は、インストールを進める前に、少なくとも下記のパッケージがインストールされていることを確認してください。</p> <p>—SUNWbtool— ソフトウェア開発ユーティリティ</p> <p>—SUNWbzip— bzip 圧縮ユーティリティ</p> <p>—SUNWlldap— LDAP ライブラリ</p> <p>—SUNWscpu— SunOS 4.x とのユーザ インターフェイスおよびソース ビルド互換用ユーティリティ</p> <p>—SUNWsprot— Solaris バンドル ツール</p> <p>—SUNWxcu4— XCU4 仕様への準拠を提供するユーティリティ</p> <p>インストールにこれらのパッケージが含まれているかどうかを確認するには、次を入力します。</p> <p>pkginfo package</p> <p>ここで、<i>package</i> は上記のリストに示したパッケージのうち 1 つを表します。</p>



注意

ISC ワークステーション ログイン シェル ファイルでファイル記述子の制限が設定されていないことを確認します (記述子は、次のいずれかになります)。**.login** ファイル、**.cshrc** ファイル、**.profile** ファイル、または **.kshrc** ファイル)。ログイン シェル ファイルに **ulimit -n** コマンドを含む行がある場合 (たとえば、「**ulimit -n <number>**」)、ファイルのその行をコメントアウトします。ログアウトし、再度ログインして、**ulimit** が設定されていないことを確認します。

ISC は、ログイン シェル ファイル内のファイル記述子制限設定を上書きできません。値が正しく設定されていない場合、ISC で操作上の問題が発生する可能性があります。

ISC は、Solaris の仮想化をサポートしています。これについては、[Appendix C, “Solaris Virtualization Support.”](#) で説明します。

ISC クライアント

ISC のクライアントには次の環境が必要です。

- ISC を実行するクライアント マシンには、Web ブラウザがインストールされている必要があります。Microsoft Internet Explorer 7.0 および 8.0 (Windows)、Mozilla Firefox 2.0 (Windows)、Mozilla Suite 1.7 (Solaris) がサポートされています。



(注) Internet Explorer では、スクリプトのデバッグ機能を無効にすることを推奨します。これを設定するには、[Tools] > [Internet Options] の順に選択し、[Advanced] タブをクリックします。[Disable script debugging] チェックボックスをオンにして、[OK] をクリックします。



(注) Mozilla Firefox を使用して別のウィンドウで ISC を起動すると、1 番目の ISC ウィンドウの情報が消えることがあります。これを避けるには、ISC でタブまたは ISC 内のハイパーリンクから新たに ISC を起動します。

Firefox で別の新しいウィンドウを開く必要がある場合は、別の Firefox のプロファイルで同じ操作を実行してください。

- Inventory Manager を実行するクライアント マシンには、Java Runtime Environment (JRE; Java ランタイム環境) および Java Web Start がインストールされている必要があります。Java 6.0 Update 7 がサポートされています。



(注) 複数の ISC ログインを使用する場合は、それぞれが異なる HTTP セッションを使用するようにしてください。これを実行するには、コマンドライン、またはデスクトップのブラウザのアイコン、または [Start] メニューから起動した個別のブラウザで各セッションを実行します。同じブラウザのウィンドウ内のタブ、またはすでに開いているブラウザから起動したブラウザのウィンドウ内で並行して ISC ログインを実行しないでください。

IOS XR デバイスの設定

次に、IOS XR の最小パッチ、PIE を示します。

- **mini.pie** - 常に必要
- **mpls.pie** - ISC には常に必要
- **mcast.pie** - ISC レイヤ 3 マルチキャスト機能に必要
- **mgbl.pie** - ISC レイヤ 2 およびレイヤ 3 導入の操作に必要 (XML エージェントを使用するため)、TEM には不要
- **k9sec.pie** - Secure Shell (SSH; セキュア シェル) を使用する場合にのみ必要

サポート対象のシスコネットワーク機器およびソフトウェアバージョン

次に推奨される、または必要な、ソフトウェアおよびハードウェアを示します。

- ISC 6.0 の Oracle Database 上のテストは、Oracle Database 10g Enterprise Edition Release 10.2.0.1.0 - 64 ビット製品で実施しました。Oracle の他のバージョンを使用する場合は、Oracle の互換性情報を参照してください。

- Cisco IOS 12.1 以降では CE がサポートされています。CE がルータで、イーサネットを使用して接続している場合は、VLAN イーサネット インターフェイスを搭載している必要があります。Management Customer Edge (MCE; 管理カスタマー エッジ) ルータはあらゆる CE として使用できます。
- Network-facing Provider Edge (NPE; ネットワーク側プロバイダー エッジ) および User-facing Provider Edge (UPE; ユーザ側プロバイダー エッジ) は、次の表に示すいずれの PE デバイスとしても使用できます。

サポート対象の機器およびソフトウェアを下記の表に示します。

- 表 1-3、「ISC 6.0 でサポートされる N-PE ロール対応 MPLS/L3VPN デバイスおよび関連ソフトウェア」
- 表 1-4、「ISC 6.0 でサポートされる L2VPN/Ethernet Over MPLS (VPLS を含む) N-PE デバイスおよび関連ソフトウェア」
- 表 1-5、「ISC 6.0 でサポートされる L2VPN および MPLS/L3VPN にアクセスするイーサネット U-PE および PE-AGG デバイスと関連ソフトウェア」
- 表 1-6、「ISC 6.0 でサポートされる MPLS/L3VPN 対応 MVRFCE デバイスおよび関連ソフトウェア」
- 表 1-7、「ISC 6.0 でサポートされる MPLS Diagnostics Expert (MDE) デバイスおよび関連ソフトウェア」
- 表 1-8、「ISC 6.0 でサポートされる Traffic Engineering Management (TEM) デバイスおよび関連ソフトウェア」

表 1-3 に、N-PE ロール対応の MPLS/L3VPN デバイスをアルファベット順に示し、そのデバイスでサポートされるソフトウェア バージョンを示します。

表 1-3 **ISC 6.0 でサポートされる N-PE ロール対応 MPLS/L3VPN デバイスおよび関連ソフトウェア**

N-PE ロール対応 MPLS/L3VPN デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco ASR 1000 シリーズ ルータ	Cisco IOS XE 2.3.0、2.3.1、2.4、2.5
Cisco ASR 9000 シリーズ ルータ	IOS XR 3.7.2、3.7.3、3.9.0、3.9.1、4.0
Cisco 2800 サービス統合型 ルータ (ISR) シリーズ ルー タ	Cisco IOS 12.3(14) T
Cisco Catalyst 3550 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.1(11) および 12.2(37) SE
Cisco Catalyst ME 3750 シ リーズ スイッチ	12.2(50)SE
Cisco 3800 (ISR) シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.3(14) T
Cisco 6400 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.1(5) DC1 および 12.2(2) B5
Cisco ME 6524 イーサネット スイッチ	12.2(33)SXI
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.2(18) ZU1 および 12.2(33)SXI

表 1-3 ISC 6.0 でサポートされる N-PE ロール対応 MPLS/L3VPN デバイスおよび関連ソフトウェア (続き)

N-PE ロール対応 MPLS/L3VPN デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco 7200 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(23) S、12.0(27) S、12.0(27) S2、12.0(31) S、12.0(19991029:003049)、12.1(5) a、12.2(2) T2、12.2(3)、12.2(4) SBD、12.2(13) T、12.2(15) T2、12.2(28) SB、12.2(31) SB5、12.4(4) XD、12.4(13)
Cisco 7300 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(4) SBD
Cisco 7500 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(22) S1、12.0(28) S、12.2(4) SBD、12.2(8) T、12.2(28) SB
Cisco 7600 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(16.13) S、12.2(17a) SX3、12.2(17b) SX、12.2(17d) SXB4、12.2(18) SXE、12.2(18) SXF、12.2(33) SRA、12.2(33) SRB、12.2(33) SRC、12.2(33) SRD、12.2(33)SRE*
Cisco 10000 エッジ サービス ルータ (ESR) シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(4) SBD、12.2(8) BC2a、12.2(16) BX2、12.2(28) SB、12.2(31) SB5
Cisco 12000 (GSR) シリー ズ ルータ	Cisco IOS 12.0(14) ST、12.0(26) S、12.0(27) S、12.0(27) S2、12.0(27)Sv2、12.0(28) S、12.0(31) S、12.0(32) S、12.0(32) SY、Cisco IOS XR 3.4.2、3.5.2、3.5.3、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0
Cisco Carrier Routing System-1 (CRS-1) シリーズ ルータ	Cisco IOS XR 3.4.2、3.5.2、3.5.3、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0
Cisco MGX 8000 シリーズ マ ルチサービス スイッチ	Cisco IOS 12.1(1)、12.1(5)、12.2(4) T、12.2(15) ZS3、12.3(11) T5

* 12.2(33)SRE トレインに 12.2(33)SRE2 よりも前の IOS イメージが導入されている場合は、このプラットフォームの既存の IPv4 VRF で IPv6 サポートを有効化できません。これは、IOS の不具合 CSCtd93417 により FAILED_DEPLOY ステートに移行するサービス リクエストが引き起こされるためです。

表 1-4 に、L2VPN/Ethernet Over MPLS (VPLS を含む) N-PE デバイスをアルファベット順に示し、そのデバイスでサポートされるソフトウェア バージョンを示します。

表 1-4 ISC 6.0 でサポートされる L2VPN/Ethernet Over MPLS (VPLS を含む) N-PE デバイスおよび関連ソフトウェア

L2VPN/Ethernet Over MPLS (VPLS を含む) N-PE デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco ASR 1000 シリーズ ルータ	Cisco IOS XE 2.4*、および 2.5* * VPLS はサポートされない
Cisco ASR 9000 シリーズ ルータ	Cisco IOS XR 3.7.2、3.7.3、3.9.0、3.9.1、4.0
Cisco 2600 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(27) SV2、12.0(28) S、12.1、12.2(3)
Cisco 3620 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(27) SV2、12.0(28) S、12.1(1a) T1

表 1-4 ISC 6.0 でサポートされる L2VPN/Ethernet Over MPLS (VPLS を含む) N-PE デバイスおよび関連ソフトウェア (続き)

L2VPN/Ethernet Over MPLS (VPLS を含む) N-PE デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco Catalyst ME 3750 シリーズ スイッチ、ERS/EWS サービスのみ (VPLS は含まない)	Cisco IOS 12.2(25) EXA、12.2(25) EY、12.2(25) EY2-7、12.2(50)SE
Cisco Catalyst 4000 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.1(12c) EW1 および 12.1(13) EW
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	Cisco CatOS 7.5、7.5(1)、Cisco IOS 12.1(11b) EX1、12.1(12c) EW1、12.2(18) SXF、12.2(33)SXI
Cisco 7200 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(22) S、12.0(27) SV2、12.0(28) S、12.2(28) SB
Cisco 7500 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(22) S、12.0(27) SV2、12.0(28) S
Cisco 7600 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(17a) SX3、12.2(18) SXD1、12.2(18) SXD4、12.2(18) SXE、12.2(18) SXF、12.2(33) SRA、12.2(33) SRB、12.2(33) SRB1、12.2(33) SRC、12.2(33) SRD、12.2(33)SRE、12.2(TETONS_SXB_THROTTLE_INTEG_040519)、12.2(TETONS_3_1_SBC_EON2.041120)
Cisco 12000 (GSR) シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(22) S、12.0(27) S、12.0(28) S、12.0(32) S、12.0(32) SY、12.0(32)SY6、Cisco IOS XR 3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0
Cisco Carrier Routing System-1 (CRS-1) シリーズ ルータ、ERS/ERW サービスのみ、ERS サービスのみの NPE 上の UNI	Cisco IOS XR 3.4.2、3.5.2、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0

表 1-5 に、L2VPN および MPLS/L3VPN にアクセスするイーサネット U-PE および PE-AGG デバイスをアルファベット順に示し、そのデバイスでサポートされるソフトウェア バージョンを示します。

表 1-5 ISC 6.0 でサポートされる L2VPN および MPLS/L3VPN にアクセスするイーサネット U-PE および PE-AGG デバイスと関連ソフトウェア

L2VPN および MPLS/L3VPN にアクセスするイーサネット U-PE および PE-AGG デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco ASR 1000 シリーズ ルータ	Cisco IOS XE 2.3.1、2.4、2.5
Cisco Catalyst 2950 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.1(11) EA1 および 12.1(22) EA1

表 1-5 ISC 6.0 でサポートされる L2VPN および MPLS/L3VPN にアクセスするイーサネット U-PE および PE-AGG デバイスと関連ソフトウェア (続き)

L2VPN および MPLS/L3VPN にアクセスするイーサネット U-PE および PE-AGG デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco ME 3400 シリーズ イーサネット アクセス スイッチ	Cisco IOS 12.2(25) EX、12.2(25) SEG、12.2(37) SE、12.2(50) SE
Cisco ME 3400E シリーズ イーサネット アクセス スイッチ	Cisco IOS 12.2(50) SE
Cisco Catalyst 3550 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.1(11) EA1、12.1(22) EA1、12.1(22) EA1a、12.2(37) SE
Cisco Catalyst 3560-E シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.2(50) SE
Cisco Catalyst 3750 ME シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.2(25) EXA、12.2(25) EY、12.2(25) EY2-7、12.2(50) SE
Cisco Catalyst 4500 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.2(20) EW、12.2(25) EWA、12.2(53)SG1、12.2(54)SG
Cisco Catalyst 4900M シリーズ スイッチ	12.2(53)SG1、12.2(54)SG
Cisco Catalyst 4948 シリーズ スイッチ	12.2(31)SGA11
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	Cisco CatOS 7.5、7.5(1)、Cisco IOS 12.1(11b) EX1、12.1(12c) EW1、12.2(18) SXF、12.2(33)SXI
Cisco ME 6524 イーサネット スイッチ	Cisco IOS 12.2(25) EX、12.2(18) ZU1 (N-PE ロール搭載)、12.2(33)SXI
Cisco 7600 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(17a) SX3、12.2(18) SXD1、12.2(18) SXD4、12.2(18) SXE、12.2(18) SXF、12.2(33) SRA、12.2(33) SRB、12.2(33) SRB1、12.2(33) SRD、12.2(33) SRE、12.2(TETONS_SXB_THROTTLE_INTEG_040519)、12.2(TETONS_3_1_SBC_EON2.041120)

表 1-6 に、MPLS/L3VPN 対応の MVRFCE デバイスをアルファベット順に示し、そのデバイスでサポートされるソフトウェア バージョンを示します。

表 1-6 ISC 6.0 でサポートされる MPLS/L3VPN 対応 MVRFCE デバイスおよび関連ソフトウェア

MPLS/L3VPN 対応 Multi-VPN Routing and Forwarding CE (MVRFCE; マルチ VPN ルーティングおよび転送カスタマー エッジ) デバイス	サポート対象の指定ソフトウェア
Cisco 836	Cisco IOS 12.3(11) T3
Cisco 1841 ルータ	12.4(24)T
Cisco 2821 ルータ	12.4(24)T
Cisco 2651XM ルータ	12.4(24)T
Cisco Catalyst 3560-E シリーズ スイッチ	12.2(50)SE
Cisco Catalyst 3750 ME シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.1(14) AX1、12.2(25) EYa、12.2(25) EY2
Cisco Catalyst 4900M シリーズ スイッチ	12.2(53)SG1、12.2(54)SG
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	12.2(33)SXI
Cisco 7400 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(4) B3 および 12.2(4) SBD

表 1-7 に、MDE デバイスをアルファベット順に示し、そのデバイスでサポートされるソフトウェア バージョンを示します。

表 1-7 ISC 6.0 でサポートされる MPLS Diagnostics Expert (MDE) デバイスおよび関連ソフトウェア

P および PE ネットワーク機器、例外事項あり	指定ソフトウェアでサポートされる MDE 2.1
MGX8800/RPM-PR (PE のみ)	Cisco IOS 12.4(6) T5a
MGX8800/RPM-XF (PE のみ)	Cisco IOS 12.2(15) ZS5
Cisco ASR 1000 シリーズ ルータ	Cisco IOS XE 2.3.0
Cisco 3800 シリーズ (PE のみ)	Cisco IOS 12.4(6) T*
Cisco Catalyst 6500 シリーズ スイッチ	Cisco IOS 12.2(18) SXF
Cisco 7200 シリーズ	Cisco IOS 12.0(27) S ~ 12.0(31) S、12.2(28) SB、12.2(31) SB5
Cisco 7200 シリーズ (PE のみ)	Cisco IOS 12.2(15) T4、12.2(18) S、12.2(28) SB3、12.3(9)、12.3(10)、12.3(10c)、12.3(13)

表 1-7 ISC 6.0 でサポートされる MPLS Diagnostics Expert (MDE) デバイスおよび関連ソフトウェア (続き)

P および PE ネットワーク機器、例外事項あり	指定ソフトウェアでサポートされる MDE 2.1
Cisco 7300 シリーズ	Cisco IOS 12.2(20) S、12.2(28) SB、12.2(28) SB3、12.2(31) SB5、12.2(33) SRA
Cisco 7300 シリーズ (PE のみ)	Cisco IOS 12.2(20) S および 12.2(25) S4
Cisco 7500 シリーズ	Cisco IOS 12.0(27) S ~ 12.0(31) S、12.0(30) S1、12.2(22) S、12.2(28) SB、12.2(28) SB3
Cisco 7500 シリーズ (PE のみ)	Cisco IOS 12.2(15) T4、12.2(18) S、12.3(15) B、12.3(17) A
Cisco 7600 シリーズ (SUP 720 搭載)	Cisco IOS 12.2(18) SXE、12.2(18) SXF、12.2(33) SRA、12.2(33) SRB1、12.2(33) SRC、12.2(33) SRD、12.2(33) SRE
Cisco 10000 シリーズ、パフォーマンス ルーティング エンジン 2 (PRE2) 搭載	Cisco IOS 12.2(28) SB および 12.2(31) SB5
Cisco 10000 シリーズ、パフォーマンス ルーティング エンジン 2 (PRE2) 搭載、(PE のみ)	Cisco IOS 12.2(3) 7XI、12.2(28) SB3、12.3(7) X17
Cisco 12000 (GSR) シリーズ	Cisco IOS 12.0(27) S to 12.0(32) S、12.0(32) SY、12.0(32) S10**、12.0(33) S1、および Cisco IOS XR 3.3.0、3.4.2*、3.5.3、3.5.4、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0.
Cisco Carrier Routing System-1 (CRS-1) シリーズ ルータ	Cisco IOS XR 3.3、3.3.5、3.4.2*、3.5.3、3.5.4、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0

* Cisco IOS および IOS XR MPLS LSP ping/Traceroute が、Internet Engineering Task Force (IETF) Label Switched Path (LSP; ラベル スイッチドパス) ping ドラフト (draft-ietf-mpls-lsp-ping-03.txt) バージョン 3 を使用するように設定されている必要があります。Cisco IOS および IOS XR MPLS LSP ping/Traceroute バージョンの設定方法の詳細については、『[Cisco IP Solution Center MPLS Diagnostics Expert User Guide, 6.0](#)』を参照してください。

** Cisco IOS 12.0(32) S10 は、MPLS OAM RFC をサポートしています。

表 1-8 に、TEM デバイスをアルファベット順に示し、そのデバイスでサポートされるソフトウェア バージョンを示します。

表 1-8 ISC 6.0 でサポートされる Traffic Engineering Management (TEM) デバイスおよび関連ソフトウェア

P および PE ネットワーク機器	指定ソフトウェアでサポートされる TEM
Cisco 7200 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(22) S、12.0(22) S2、12.0(24) S、12.0(26) S、12.0(26) S2、12.0(27) S、12.0(27) S4、12.0(28) S、12.0(28) S5、12.0(31) S、12.0(32) S、12.2(31) SB5** ** 12.2(28) SB の Fast Re-route (FRR) はサポートされない
Cisco 7500 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(22) S、12.0(22) S2、12.0(27) S4
Cisco 7600 シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.2(18) SXD1、12.2(18) SXF、12.2(33) SRA、12.2(33) SRB、12.2(33) SRC、12.2(33) SRD、12.2(33) SRE
Cisco 10000 (ESR) シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(25) S1、12.0(30) S3、12.0(32) S、12.2(31) SB5、12.2(SB) REL3** ** 12.2(28) SB の Fast Re-route (FRR) はサポートされない
Cisco 12000 (GSR) シリーズ ルータ	Cisco IOS 12.0(26) S、12.0(31) S、12.0(32) S、および Cisco IOS XR 3.2、3.3、3.4.2、3.5.2、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0
Cisco Carrier Routing System-1 (CRS-1) シリーズ ルータ	Cisco IOS XR 3.2、3.3、3.4.2、3.5.2、3.6.0、3.6.1、3.6.2、3.7.0、3.7.1、3.8.1、3.8.2、3.8.4、3.9.0、3.9.1、4.0

